

堺区チャレンジ（Challenge）プラン

R6・7年度重点取組と 基本方針ごとの取組状況等

令和6年8月9日
堺市堺区政策会議

基本方針1 堺区の魅力が世代を超えて伝えられ、「郷土愛」が育まれていること

施策1-1 歴史文化に触れる機会を創出し、魅力を伝える意識を醸成します

【方向性】 堺区に存在する歴史的・文化的資源を活用し、それら地域の魅力を体感できる取組を進めます。とりわけ伝統産業等に関わる人や堺区にある日本で屈指の企業や堺にゆかりあるスポーツチームも地域の資源と捉え、その良さを実感することで、地域の誇りや堺の愛着を高めます。

【重点取組】

◎堺区子ども体験学習事業

- ◆堺区が誇る歴史・文化に触れ合う体験学習を通して、地域の魅力を子どもたちが改めて認識し、地域の誇りや愛着につなげます。
 - ・和菓子づくりと茶の湯体験 ・散走体験 他
- ◆堺区内の企業や堺にゆかりあるスポーツチーム等と連携し、職場体験やスポーツ体験教室などを実施し、さらなる堺への関心を高めます。
 - ・(仮)子ども職場体験 ・(仮)堺区スポーツフェスティバル 他



【その他取組】

- 堺区自転車スタート推進事業（堺区在住の幼児を対象とした「初めての自転車教室」の実施）
- 自転車タクシー運行事業（堺観光コンベンション協会と連携し、観光周遊等への自転車タクシーの活用）
- 世界遺産登録を契機とした郷土愛醸成事業（「世界遺産のあるまち堺区」ロゴを活用した周知啓発）

基本方針1 堺区の魅力が世代を超えて伝えられ、「郷土愛」が育まれていること

施策1-2 新たな魅力発信ツールを活用し、誇りに繋げる環境を整備します

【方向性】 対象に応じたツールを活用し、堺区の魅力発信を進めます。若い世代へのアプローチとしては、大学生等と連携し、SNSを活用した取組を強化します。
一方で、広報紙は幅広い世代に対し、情報が届くツールであることから、SNSの発信に加え、広報紙等の各種発信ツールの充実も図り、効果的な情報発信を行います。

【重点取組】

◎ SNSなどを活用した魅力発信事業

- ◆堺区公式YouTubeチャンネル（サカエルTV）、堺区公式Instagram、X（旧Twitter）を活用した情報発信を図ります。
 - ・学生や若手職員等による堺区内まち歩き企画など大学生や若手職員のアイデアによる魅力発信 等
- ◆堺区公式キャラクター「サカエル・みそさかい」による広報活動の充実

◎ 広報さかい（堺区版）を始めとした広報活動の強化

- ◆職員の広報スキルを向上させる研修等を実施し、効果的な情報発信を実施します。



基本方針1 堺区の魅力が世代を超えて伝えられ、「郷土愛」が育まれていること

事業	取組状況・成果等
堺区子ども体験学習事業	○和菓子づくりと茶の湯体験（R5年度開始） R5年度：親子47組参加（8月・2月実施） R6年度：親子27組参加（7月実施） ○竹工芸体験（R5年度開始 17人参加） ○子ども散走体験（R5年度実施・7人参加） ○（仮）堺区スポーツフェスティバル（R6年度開始予定） ⇒申込開始後すぐに定員に達し、一部体験では見学だけでもしたいという声もある人気イベントで、参加者の満足度は90%を超えている。 このことから、堺区が誇る歴史、文化、伝統工芸等に触れ合う体験学習を通じて、堺区の子どもや保護者が改めてその良さを実感する機会となり、地域への誇りや愛着に繋がったと考える。
堺区自転車スタート推進事業 （堺区在住の幼児を対象とした「初めての自転車教室」の実施）	○自転車スタート事業を12回実施（R3～R5年度・のべ817人参加） ⇒初めての自転車体験を実施し、安全な自転車の乗り方やヘルメット着用の意識づけを行った。ゲームを通して、楽しみながら学べたという声も多く、自転車に触れ、堺が誇る産業を身近に感じてもらえたと考える。 子どものヘルメット着用率（R5年度：85%（前年度比+3%））
自転車タクシー運行事業 （堺観光コンベンション協会と連携し、観光周遊等への自転車タクシーの活用）	○自転車タクシーによる観光周遊（R3～R5年度・のべ706人乗車） ・堺区内の観光名所を巡るツアーの企画、イルミネーション点灯時の運行などの取組を実施 ⇒堺産自転車タクシーの活用により、堺の観光周遊としての活用の幅を広げることで、TVでも紹介されるなど、堺が誇る産業である自転車を広く発信したと考える。一方、修繕料等の維持費がかかるなど、事業採算性に課題があると考えている。

基本方針1 堺区の魅力が世代を超えて伝えられ、「郷土愛」が育まれていること

事業	取組状況・成果等
世界遺産登録を契機とした郷土愛醸成事業 (「世界遺産のあるまち堺区」ロゴを活用した周知啓発)	○ロゴを活用した周知啓発 ・ロゴを区広報紙への掲載やロゴ入りキャラクターグッズの配布・販売 ・職員の名札にロゴを貼付してPR 他 ⇒幅広い区民にPRでき、世界遺産のあるまちとして誇りと愛着に繋がったと考える。
SNSなどを活用した魅力発信事業	○堺区公式Instagramによる情報発信（概ね週2回更新） ・市民による、堺区内で撮影された素敵な写真を紹介し掲載 ・学生等のアイデアによるInstagramの動画作成（R6年度10回予定） ⇒フォロワー数 R6.7月時点：1,989件（当初512件から1,477件増） ○区長X（週2,3回更新）、サカエル・みそさかいX（平日は概ね毎日更新）で区の魅力やイベント等情報を発信 ⇒区長Xフォロワー数 R6.7月時点：1,180件（R6.4月比約180件増） ○堺区公式YouTubeチャンネル（R3～5年度・27本動画作成） ・R6.7月から、作成した動画を区役所市民課前のTV等で放映開始 ○堺区公式キャラクター「サカエル・みそさかい」による広報活動 ・サカエル・みそさかい着ぐるみ貸し出し回数（R3～5年度・のべ71回） ・キャラクターグッズ配布・販売数（R3～5年度・のべ4,339個） ⇒対象に応じた発信を行うことにより、各媒体においてフォロワー数等が増加した。また、若い世代と連携して、堺区の魅力を発信したことにより、フォローしていない層にも閲覧してもらえており、郷土愛醸成に繋がったと考える。
広報さかい（堺区版）を始めとした広報活動の強化	○広報スキル向上研修（R6年度開始・24名参加） ⇒幅広い世代への広報ツールとして重要な広報紙の作成にあたって、市民を惹きつける紙面の作り方・写真の撮り方など、役に立つ広報スキルの向上を図り、今後、わかりやすく効果的な情報発信に繋げていく。

基本方針2 人と人のつながりが地域を支え、活力が生み出されていること

施策2-1 若い世代の地域参加を促進し、地域コミュニティを活性化します

【方向性】地域活動の担い手が高齢化・固定化する中、自治会活動に対する理解を深め、役員の負担を軽減させるため、これからの自治会活動の課題解決に向けた取組を地域の方々と進めます。
また、若い世代の地域への参画を進めるため、地域活動の見える化を進めます。

【重点取組】

◎堺市堺区地域活動等支援事業

- ◆これからの自治会活動に有益な方策や課題解決に向けた検討等を地域の方々と共に行います。
 - ・自治会活動活性化に向けたワークショップ等の実施
 - ・文化・スポーツ教室の実施 等

◎地域活動情報の発信強化

- ◆子育て世代に対し、地域活動の情報を発信することで、自治会活動への理解促進を図ります。

◎大学生等と連携した地域活動促進

- ◆関西大学堺キャンパス等と連携し、地域への若者参画を推進します。
 - ・子ども音楽フェス ・（仮）堺区スポーツフェスティバル [再掲]



【その他取組】

○自治会等における情報伝達機能の向上（LINE公式アカウントを活用した地域情報等共有の実施）

基本方針2 人と人のつながりが地域を支え、活力が生み出されていること

施策2-2 多様なコミュニティ活動を応援し、人と地域の繋がりを支えます

【方向性】 ライフスタイル、趣味や趣向が多様化する中で、多様なコミュニティ活動への参加促進は人と地域のつながりに寄与する取組である。そのため地域で行われる公益的なコミュニティ活動への支援を進めます。具体には、地域活動団体を繋げる人的なネットワークづくりの促進、それぞれの活動の周知を行います。

【重点取組】

◎ 堺区まちの魅力・賑わい創出事業

◆ 堺区内で地域の活性に関する取組を進める人や団体の活動等を支援し、さらに新たな連携を促進することで、民間主体による活動を促進します。

・コノユビトマレプロジェクトの推進

（公民連携のもと、民間主体の魅力発信や賑わい創出イベントの実施）

◎ 大学生等と連携した地域活動促進 [再掲]

◆ 関西大学堺キャンパス等と連携し、地域への若者参画を推進する。



【その他取組】

○ 多様なコミュニティ活動の情報発信（広報紙等で、子ども食堂など、地域で行われている活動の周知）

基本方針2 人と人のつながりが地域を支え、活力が生み出されていること

事業	取組状況・成果等
堺市堺区地域活動等支援	○堺区地域交流文化・スポーツ教室事業 (R3～5年度・8回実施) ⇒「実施により地域の交流が深まった」「自治会未加入者も自治会活動に興味を持つ機会となった」「今後も多様な事業を展開していきたい」との校区からの報告があり、地域住民の交流と連帯感の醸成に繋がっていると考える。 ○自治会活動にかかる講演会と意見交換会を実施（R5年度） ⇒「今後、校区の自治会活動に参考になった」とのアンケート回答者は93%であり自治会活動の活性化に繋がっていると考える。
地域活動情報の発信強化	○地域イベントにおける自治会活動の紹介 (ふれあいまつり、夏休み防災自由研究講座) ⇒子育て世代や自治会未加入者も多く参加するイベントや講座の開催にあわせ、自治会活動を紹介することで理解促進の効果的な機会になったと考える。
大学生等と連携した地域活動促進	○子ども音楽フェス（R5年度開始・来場者 約800人） R6年度：関西大学地域連携事業として8/31に実施予定 ⇒堺区の子どもたちが吹奏楽等を大学で発表できる機会となったことに加え、大学生や地域の方々との協働により、子どもの健全育成、地域交流、地域活性化に効果的な事業となり、地域コミュニティの輪が広がったと考えている。

基本方針2 人と人のつながりが地域を支え、活力が生み出されていること

事業	取組状況・成果等
自治会等における情報伝達機能の向上 (LINE公式アカウントを活用した地域情報等共有の実施)	○地域で活用できるようLINEの活用マニュアルをホームページに掲載 (R5年度) ○堺区と各校区との情報共有にLINEWORKSを活用 (R5年度開始) ⇒LINEWORKSの活用をきっかけに、各校区間の活動を共有するLINEグループを立ち上げる等ICTを積極的に活用した地域情報の共有に繋がった。
堺区まちの魅力・賑わい創出事業	○コノユビトマレプロジェクトの推進 ・自転車タクシー活用事業 (R3～R5年度・のべ706人乗車)【再掲】 ・R5年度:堺区南蛮人像を活用した環濠エリア等のPR事業 ・R4年度:堺旧港若者マルシェイベント事業 (参加人数 約600人) ⇒民間主体による新たな活動を支援することにより、堺区内地域の活性化や地域愛の醸成に繋がったと考える。
多様なコミュニティ活動の情報発信 (広報紙等で、子ども食堂など、地域で行われている活動の周知)	○区広報紙や区HP・公式Xにおいて、区域内でのイベント等を掲載 ⇒市民活動を実施する団体等のイベントを掲載することにより、各団体から行政が広報することで、参加者が増えたなどの報告があり、地域の活性化に寄与した。

基本方針3 おもてなしの精神で笑顔が溢れ、誰もが堺区に満足していること

施策3-1 思いやり豊かな職員育成に努め、信頼される区役所をめざします

【方向性】「地域の総合行政サービスの拠点」として、日常生活にかかわる行政サービスを正確・丁寧・迅速に提供する区役所において、窓口環境を取り巻く状況を踏まえつつ、住民視点に立った利便性向上に向けた取組を進めます。また、一歩進んだ窓口職員の育成を進め、満足度の高い窓口サービスの提供を進めます。

【重点取組】

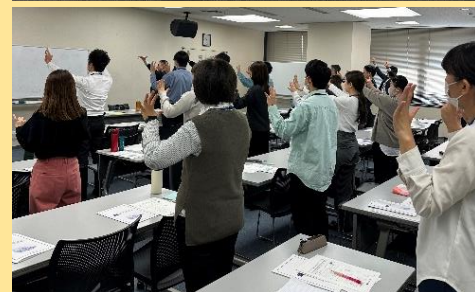
◎堺区窓口サービス向上事業

- ◆利便性の高い区役所窓口の実現に向けて、わかりやすい窓口案内表示の充実など、快適で利用しやすい区役所をめざします。
 - ・窓口案内の拡充
 - ・来庁者の利便性向上に係る取組の継続実施（待ち人数WEB表示等）



◎さかいコンダクターおもてなしプロジェクト（SCOP）

- ◆若手職員で構成したSCOPチームの活動を中心に接遇研修等の取組を継続実施し、窓口対応の向上に努めます。
 - ・「堺区窓口対応 First Step Guide」を活用した取組の推進
 - ・窓口対応向上の推進体制強化



【その他取組】

- 誰一人取り残さない行政サービスの提供（多機関連携担当を中心とした支援の強化 他）

基本方針3 おもてなしの精神で笑顔が溢れ、誰もが堺区に満足していること

施策3-2 堺らしい「おもてなし」の精神で、来訪者に優しい堺区をめざします

【方向性】 堺には、類稀なる歴史文化資源や「食」など、価値あるものがあるにも関わらず、多くの方が気づいていない現状があります。そのため、国内外からの来訪者に対し、堺の魅力を伝えられる人材を増やす取組を関係団体との連携のもと進めます。

【重点取組】

◎ おもてなしサポート事業

- ◆ 来訪者等に堺の魅力を伝える人材を増やすため、ホテル関係者など、堺への来訪者と接する機会が多い方々を対象に堺の魅力を体感できる「おもてなしサポート講座」を実施します。

◎ SNS等を活用した魅力発信事業 [再掲]

- ◆ 堺区公式YouTubeチャンネル、堺区公式Instagram・X（旧Twitter）を活用した情報発信を図ります。



【その他取組】

○堺区ガイドマップの作成・配布（転入者などに対して、観光や施設等を記載した堺区ガイドマップを配布）

基本方針3 おもてなしの精神で笑顔が溢れ、誰もが堺区に満足していること

事業	取組状況・成果等
堺区窓口サービス向上事業	○窓口環境の整備 ・窓口待ち人数WEB表示システム、多言語翻訳機の導入【市民課・保険年金課・地域福祉課・子育て支援課】 ・キャッシュレス決済の導入（クレジットカード、電子マネー（交通系ICカードを含む。）、QRコード決済に対応） ・対話支援スピーカー、軟骨伝導イヤホンの設置 など ⇒高齢者や障害者、外国人とのスムーズなコミュニケーションや、来庁者の利便性向上により、快適な窓口環境を整備した。また、円滑な会話ができることにより、何度も聞き直すことが減るなど、窓口対応職員の負担軽減にも繋がった。 ○窓口案内表示の拡充 ・令和5年度：主に1階を実施、R6年度：主に2階部分を実施予定 ⇒色分けや表示のリニューアルにより、迷わせない、わかりやすい窓口を提供し、市民サービスの向上を図ったと考えている。
さかいコンダクターおもてなしプロジェクト（SCOP）	○SCOPメンバーが必要と考える接遇研修を実施（毎年度） ・R6年度：電話のマナー向上研修を実施予定（8/21） ・R5年度：窓口対応用マニュアル（冊子）を作成 ・管理職を含めた職員対応力向上研修を実施（R6年度・36名参加）等 ⇒主にSCOPメンバー中心に接遇力向上の研修を行っていたが、堺区役所職員に広く共有するため、冊子の作成や推進体制の強化を行い、区役所全体の接遇力の強化を行った。R5年度の窓口アンケート調査では、「とてもよい」「よい」の評価が計90.3%となっている。

基本方針3 おもてなしの精神で笑顔が溢れ、誰もが堺区に満足していること

事業	取組状況・成果等
誰一人取り残さない行政サービスの提供 (多機関連携担当を中心とした支援の強化 他)	○多機関連携事業 (R5年度から※を開始) ・統括支援会議(事業の方向性を決定する会議) 5回実施 ・支援会議(実際に支援する内容を検討する会議) 9回実施 ※複合的な課題を抱えた世帯を関係機関が連携・協力し包括的に支援する事業 ⇒複合的な課題を抱えた世帯の出産にあたり、関係機関が連携してそれぞれの役割に応じた包括的な支援を行うことにより、当該世帯の安定した子育て・生活に繋がった。
おもてなしサポート事業	○おもてなしサポート講座の実施 (R5年度開始) ・ホテル従業員等を対象に講座実施 (R5年度モデル実施：7人参加) ・対象者を拡大し講座実施 (R6年度：20人程度参加予定) ⇒来訪者(宿泊者)等に、堺区の良さを知ってもらい、安心して堺を楽しんでもらえるよう、ホテル従業員等に堺区の魅力的な体験ツアーや講話を実施し、堺区の魅力を伝えられる人材を育成できていると考えている。
堺区ガイドマップの作成・配布 (転入者などに対して、観光や施設等を記載した堺区ガイドマップを配布)	○堺区ガイドマップの配付 ・市民課に転入手続きに来られた方やガイドマップが欲しい区民等に配布 (R5年度・約5,900枚) ⇒転入された方などに配布することにより、堺区の主要な観光スポットや施設等の周知ができたと考える。

基本方針4 すべての人が生涯にわたって、安全・安心に住み続けていること

施策4-1 多様な主体の連携を促し、強靱でしなやかな防災体制を築きます

【方向性】「将来の担い手育成」、「地域防災力の強化」、「誰一人取り残さない防災体制の構築」の3つの方針のもと、SNS活用も視野に入れた若い世代を対象とした防災啓発の強化、また多様な主体の地域防災活動への参画促進を進めるなど、持続可能な防災体制の強化をめざします。

【重点取組】

◎地域防災力の強化

- ◆各校区の自主防災組織のさらなる活性化に向け、組織内の防災士資格取得促進と「堺区防災サポーター」の連携を支援します。
 - ・防災士資格取得講座の実施
 - ・自主防災組織への支援
 - ・堺区防災サポーターの人材育成、実践プログラムの実施



◎若い世代を対象とした防災啓発

- ◆講座等を通した防災意識の向上や防災訓練等への参画促進を図ります。
 - ・子育て世代向けの防災啓発
(出前講座・防災キャンプの実施、子育てファミリーのための防災ブックの活用他)

【その他取組】

- 誰一人取り残さない防災体制の再構築（災害発生直後の避難を支えるサインの整備 他）

基本方針4 すべての人が生涯にわたって、安全・安心に住み続けていること

施策4-2 地域全体での見守り活動を促進し、安全安心な堺区をめざします

【方向性】 高齢者を狙った特殊詐欺の被害の防止など、地域や警察等との連携のもと、防犯知識の普及・防犯意識の向上などの取組を進めます。また防犯環境を整備し、犯罪を実行されにくい、安全・安心の地域の実現をめざします。

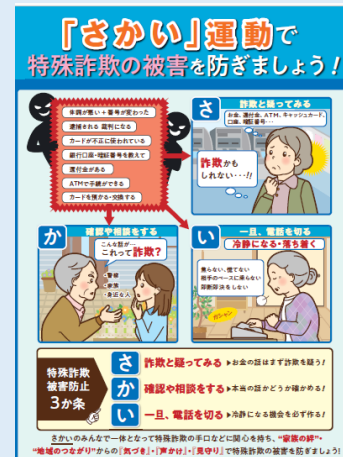
【重点取組】

◎ 地域安全推進事業（全区）

- ◆ 防犯環境の整備に向け、地域で設置している防犯灯のLED化の促進、特殊詐欺被害防止のための自動通話録音機の無償貸出を実施します。

◎ 地域・警察等と連携した防犯活動

- ◆ 地域や警察などと連携して、防犯に関する周知啓発を行い、区民の防犯意識の向上を図ります。
 - ・ 特殊詐欺等の犯罪に関する周知啓発の実施
 - ・ SNS等を活用し、防犯に係る広報を実施 他



【その他取組】

- 子どもの見守り活動の充実（青色防犯パトロール活動への支援や道路横断用手旗の配布など）

基本方針4 すべての人が生涯にわたって、安全・安心に住み続けていること

事業	取組状況・成果等
地域防災力の強化	○自主防災組織の活動支援 ・若年世代の防災士資格取得促進（延べ65人取得） ・堺区防災サポーターの育成と活動支援（延べ72人） ・各校区防災訓練の実施支援 ⇒小中学生などの防災士が誕生する等、若年層の防災人材が増加している。また、堺区防災サポーター数も増加し、培ったノウハウを校区の防災訓練で発揮するなど地域防災力の強化に繋がっている。
若い世代を対象とした防災啓発	○子育て、小学生、親子を対象にした防災啓発 ・「子育てファミリーのための防災ガイド-堺区版-」を活用した啓発の実施 （主に4か月検診児対象者に配付約1,400世帯（R4、5年度）） ・総合防災センターや小学校での出前講座の実施 約1,200人参加（R4、5年度） ・「堺区防災・防犯フェス」、「堺区防災講座」、「堺区防災キャンプ」等の実施 約2,200人参加（R4、5年度） ⇒初めて「防災マップ」を見た方などが多く、特に家庭での備蓄の必要性が重要などの「自助」の認識を持たれた。また、今後、自主防災組織に参加したいといった「共助」の声もあるなど、防災に興味が薄かった方に対しての啓発が進んだ。

基本方針4 すべての人が生涯にわたって、安全・安心に住み続けていること

事業	取組状況・成果等
誰一人取り残さない防災体制の再構築 (災害発生直後の避難を支えるサインの整備 他)	○堺区防災お役立ちカードの作成、配布 ⇒区内ホテル、主要駅、観光案内所で配布してもらうことにより、外国人客等が立ち寄る場所での防災知識の周知が図られていると考える。 ○津波避難誘導サインや避難所誘導サイン等の整備 計約400枚整備（予定） ⇒一部サインは地域の方々と協働で取り付け、また防災訓練等でもサインを活用した啓発を行っていただいた。また、街中に多数のサインを設置したことで、災害を日常的に意識できるなど「防災の見える化」として効果があった。 ○企業等への一斉帰宅抑制啓発の実施 約300事業者へ啓発を実施（R4、5年度） ⇒堺防災協会の協力のもと、多数の事業者への帰宅困難者対策について啓発を行ったことで、校区自主防災訓練への参加意向があるなど、事業者の「自助」「共助」を考える機会となっている。
地域安全推進事業	○公設防犯カメラの設置・維持管理 合計113台 ○戦略的防犯灯の設置（R5年度）合計28台 ⇒大阪重点犯罪認知件数R4年・5年比較▲10%となっており、これらの取組が犯罪の抑止に繋がっていると考え。

基本方針4 すべての人が生涯にわたって、安全・安心に住み続けていること

事業	取組状況・成果等
地域・警察等と連携した防犯活動	○警察と連動した特殊詐欺等の犯罪に関する啓発の実施（歳末 夜間合同パトロール、ひったくり防止キャンペーン、特殊詐欺防止風あげ大会等） ⇒大阪重点犯罪認知件数R4年・5年比較▲10%となっており、これらの取組が犯罪の抑止に繋がっていると考える。
子どもの見守り活動の充実 （青色防犯パトロール活動への支援や道路横断用手旗の配布など）	○青色防犯パトロール活動への補助金交付 ○一斉登下校見守り ○堺区オリジナル道路横断手旗の配布（R4年度） ⇒大阪重点犯罪認知件数R4年・5年比較▲10%となっており、これらの取組が犯罪の抑止に繋がっていると考える。